練習問題

↓解答は別冊 2ページ

❶ 次の漢字の成り立ちの説明に合うものを、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 意味を表す字と、音を表す字を組み合わせて作る。
(2) 形のない事柄を、印や記号で表す。
(3) 物の形をかたどって作る。
(4) すでにある文字を組み合わせて、新しい意味を表す。

ア 象形　イ 指事
ウ 会意　エ 形声

(1) ［　　］
(2) ［　　］
(3) ［　　］
(4) ［　　］

❷ 次の漢字の、音を表す部分と、意味を表す部分を答えなさい。

(1) 清　(2) 効

漢字の読み方と同じ読みの部分が、「音を表す部分」だよ。

	音を表す部分	意味を表す部分
(1)	［　　］	［　　］
(2)	［　　］	［　　］

❸ 次の漢字の部首の部分を書き、その部首名として適切なものをあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 空　(2) 刻　(3) 慣　(4) 盛

部首名に使われている言葉に注目すると、どの漢字の部首なのかがわかるよ。

ア りっとう　イ さら
ウ あなかんむり　エ りっしんべん

	部首の部分	部首名
(1)	［　　］	［　　］
(2)	［　　］	［　　］
(3)	［　　］	［　　］
(4)	［　　］	［　　］

ゼッタイ！これだけ

多くの漢字の成り立ちは、形声。**意味**を表す部分＋**音（読み方）**を表す部分に注意して覚えよう！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 2ページ

1 次の漢字を、例にならって正しい書き順で一画ずつ加えて□に書きなさい。

例 山 → 山 → 山 → 山

(1) 右 □ □ □ □ □

(2) 冊 □ □ □ □ □

(3) 示 □ □ □ □ □

それぞれの漢字の書き順が、どの原則にあてはまるのかを考えよう。

2 漢字の「城」を書くとき、黒い部分は何画目になりますか。漢数字で書きなさい。

城

□画目

3 「鳥」を二種類の書体で書きました。それぞれの書体の名前をあとのア・イからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 鳥　(2) 鳥

ア 行書　イ 楷書

(1) □　(2) □

4 次の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数を、それぞれ漢数字で書きなさい。

(1) 関　(2) 民

(1) □画　(2) □画

ゼッタイ！これだけ

漢字の書き順の大原則は、**上から下へ、左から右へ**だよ。阝は三画、辶も三画。部首は間違えやすい画数に注意！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 2ページ

❶ 次の熟語の読み方の種類として適切なものを、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 時間　(2) 大雪
(3) 身分　(4) 台所

ア 音音読み　イ 音訓読み（重箱読み）
ウ 訓訓読み　エ 訓音読み（湯桶読み）

(1) ［　　］　(2) ［　　］
(3) ［　　］　(4) ［　　］

❷ 次の熟語と読み方の種類が同じものを、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 仕事　(2) 場所
(3) 建物　(4) 社会

ア 役目　イ 健康　ウ 指輪　エ 消印

(1) ［　　］　(2) ［　　］
(3) ［　　］　(4) ［　　］

❸ 「人気」という熟語には、「にんき」と「ひとけ」の二種類の読み方がありますが、それぞれどのような意味ですか。次のア・イからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 人のいる気配や様子。
イ 世間の人々からの評判。

にんき ［　　］　ひとけ ［　　］

❹ 次の、特別な読み方をする熟語（熟字訓）の読みをそれぞれ答えなさい。

(1) 大人　(2) 七夕
(3) 果物　(4) 眼鏡

(1) ［　　］　(2) ［　　］
(3) ［　　］　(4) ［　　］

熟語の読み方は、「**重箱読み**」と「**湯桶読み**」のものに注意して覚えておこう。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 2ページ

❶ 次の――線部を漢字で表したときに適切なものを、あとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

文化祭のテーマについて、クラスで決をとる。

ア 執　イ 取　ウ 採

□

❷ 次の――線部の読みにあてはまる漢字を、ア・イからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 部屋の窓をいっぱいにあ(ア空　イ開)ける。
(2) 彼(かれ)は立派に議長をつと(ア務　イ努)めた。
(3) 雨がやんで日がさ(ア指　イ差)してきた。
(4) 部活への参加をすす(ア薦　イ勧)める。

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □

❸ 次の――線部のカタカナを漢字で表したときに適切なものを、あとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

中学校の体育館を、地域の住民にカイホウする。

ア 開放　イ 解放　ウ 快方

□

❹ 次の――線部A～Cを漢字に直したときの組み合わせとして適切なものを、あとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

友人と美術館で絵画をカンショウ(A)し、ある絵を前にカンショウ(B)的な気分にひたっていると、友人が得意気(C)に説明を始め、案内までしようとしたので、自分の行動にカンショウされたように感じてしまった。

	A	B	C
ア	鑑賞	干渉	感傷
イ	観賞	鑑賞	干渉
ウ	鑑賞	感傷	干渉

□

ゼッタイ！これだけ

同訓異字や同音異義語は、意味も合わせて覚えること！ **文意にあてはまるように**使い分けよう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 3ページ

❶ 次の熟語の組み立てをあとのア～キからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 腹痛　(2) 有無　(3) 親友　(4) 平然
(5) 永久　(6) 非常　(7) 着席

ア 似た意味の漢字を重ねたもの。
イ 反対の意味の漢字を重ねたもの。
ウ 上下が主語と述語の関係のもの。
エ 上の字が下の字を修飾しているもの。
オ 下の字が上の字の目的語となるもの。
カ 上に打ち消しの漢字「不・無・非・未」がつくもの。
キ 下に性質や状態を表す漢字「性・的・化・然」などがつくもの。

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □
(5) □　(6) □　(7) □

❷「難事件」と同じ組み立ての三字熟語を次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 松竹梅
イ 銀世界
ウ 芸術的

□

❸「自由自在」と同じ組み立ての四字熟語を次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一長一短
イ 多種多様
ウ 道路工事

□

ゼッタイ！これだけ

熟語の組み立ては「作文（作る↑文を）」「曲線（曲がった↓線）」のように、**文にしたり、訓読みに変えたり**して考えよう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 3ページ

❶ 次の意味を表す四字熟語として適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 非常に短い時間のこと。
(2) 一つ一つ様子が異なり、違いがさまざまなこと。
(3) 自在に行動して所在がつかめないこと。
(4) たえまなく進歩すること。

ア 電光石火　**イ** 日進月歩
ウ 神出鬼没　**エ** 千差万別

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □

❷ 次の漢字の中から四つを組み合わせて、「気持ちを新たにすること」という意味を表す四字熟語を完成させなさい。

新　一　期　心
気　展　機　転

□

❸ 次の意味を表す四字熟語になるように、□にあてはまる漢数字を書きなさい。

(1) 意味 よくなったり悪くなったりすること。
□進
□退

(2) 意味 苦しみ、転げ回ること。
□転
□倒

(3) 意味 値段が非常に安いこと。
□束
□文

ゼッタイ！これだけ

間違えやすい四字熟語は、「危機一髪（×発）」…髪一本ほどのわずかな差で危険に陥りそうな状態」のように**意味に注意して**覚えよう。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 4ページ

❶ 次の熟語の類義語として適切なものをあとのア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 納得　(2) 突然　(3) 感心
(4) 意外　(5) 手段　(6) 志望

ア 案外　イ 不意　ウ 志願
エ 了解　オ 方法　カ 敬服

(1) ［　　］　(2) ［　　］　(3) ［　　］
(4) ［　　］　(5) ［　　］　(6) ［　　］

❷ 次の――線部の類義語を、例にならって（　）内のカタカナの読みを参考にして書きなさい。

例 欠点がない。（タンショ）→短所
(1) 用意ができる。（ジュンビ）
(2) 未来の話。（ショウライ）

(1) ［　　］［　　］
(2) ［　　］［　　］

❸ 次の熟語の対義語として適切なものをあとのア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 権利　(2) 具体　(3) 客観
(4) 軽率　(5) 延長　(6) 損失

ア 短縮　イ 主観　ウ 抽象
エ 慎重　オ 義務　カ 利益

(1) ［　　］　(2) ［　　］　(3) ［　　］
(4) ［　　］　(5) ［　　］　(6) ［　　］

ピッタリ！これだけ

二字とも違う対義語は、ひとまとまりで覚えておこう。ほかにも「理想↔現実」「需要↔供給」などがあるね。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 4ページ

❶「音を上げる」の意味として適切なものを次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア うれしくて大声を出す。
イ 耐え切れずに降参する。
ウ 成功して評判を上げる。

□

❷「気心が知れる」とほぼ同じ意味の慣用句として適切なものを次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 気が置けない
イ 気が気でない
ウ 気を持たせる

□

❸ 次の慣用句を含む文の□にあてはまる、体の一部を表す言葉を漢字一字で答えなさい。

(1) 決勝戦は、□に汗を握る試合だった。
(2) どうやってもうまくいかずに□を抱える。
(3) 親たちは、子どもの成長に□を細めている。
(4) 一日中歩き続けて、□が棒になる。
(5) 友人の名前を間違えて、□から火が出る思いをした。
(6) あの評論家は、□に衣着せぬ発言が人気だ。

(1) □　(2) □　(3) □
(4) □　(5) □　(6) □

体の一部を表す言葉を使った慣用句「目を細める」などは、言葉そのままの様子をイメージすると意味をとらえやすい。整理して覚えよう！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 4ページ

❶ 次のことわざの□にあてはまる言葉を、漢字一字で書きなさい。

(1) □の上にも三年
(2) □降って地固まる
(3) 立て板に□

(1) □
(2) □
(3) □

❷ 「杞憂」という言葉は、「中国の杞(き)の国の人が、天が落ちてこないかと心配で寝(ね)ることもできなかった」という故事からできました。この故事からわかる杞憂の意味を次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア つじつまが合わないこと。
イ 余計なもの。
ウ 取り越し苦労。

□

❸ 次のことわざ・故事成語の意味として適切なものをあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 馬の耳に念仏
(2) 三人寄れば文殊の知恵
(3) 五十歩百歩
(4) 守株
(5) 情けは人のためならず

ア 似たり寄ったりで、あまり変わりがないこと。
イ いくら意見しても、まったく効き目のないこと。
ウ 古い習慣にこだわって進歩のないこと。
エ 一人で考えるより、大勢で考えたほうがよいこと。
オ 人に情けをかけておけば、いつかは自分のためになる。

(1) □
(2) □
(3) □
(4) □
(5) □

ゼッタイ！これだけ

「情けは人のためならず」は意味を間違えやすい。「馬子にも衣装」は漢字も間違えやすいので注意しよう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

❶「赤い花がいっせいに開いた。」を文節に区切るとどうなりますか。適切なものを次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　赤い／花が／いっせいに／開いた。
イ　赤い花が／いっせいに／開いた。
ウ　赤い／花が／いっせい／に／開いた。

□

❷ 次の文を、例にならって文節に区切りなさい。

例 今日は／風が／強い。

(1) 広場に人がたくさんいる。

(2) 星がとてもきれいだ。

❸ 次の文を単語に区切るとどうなりますか。適切なものを、それぞれあとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 遠くの山にハイキングに行く。

ア　遠くの山に一ハイキングに一行く。
イ　遠く一の一山に一ハイキングに一行く。
ウ　遠く一の一山一に一ハイキング一に一行く。

(2) 今日は運のいい日だった。

ア　今日一は一運一の一いい日一だ一った。
イ　今日一は一運一の一いい一日一だっ一た。
ウ　今日は一運の一いい日一だった。

(1) □

(2) □

ゼッタイ！これだけ

文節と単語の区切り方は間違えやすい。文節は、文の間に**「ネ」や「ヨ」を入れて**区切ってみよう。単語は**さらに小さな単位**だ。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

❶ 次の文の――線部は、どんな文の成分ですか。適切なものをあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 父は　今日も　会社に　行く。
(2) 今日の　妹は　とても　かわいい。
(3) いえいえ、こちらこそ　ありがとう。

ア 主語　**イ** 修飾語　**ウ** 述語
エ 接続語　**オ** 独立語

(1) [　　]
(2) [　　]
(3) [　　]

❷ 次の文の――線部ア～ウは連文節になっています。ア～ウの中から主部と述部をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

庭の(ア)　小鳥が　かわいい(イ)　声で　鳴いて(ウ)　いる。

主部 [　　]　述部 [　　]

❸ 例 ――線を引きなさい。

例 【述語】私が住んでいるマンションはここです。

(1) 【修飾語】中間テストが今日返ってくる。
(2) 【述語】あれは、母が昔通っていた学校です。
(3) 【主語】私もそのケーキを食べます。
(4) 【接続語】いいよ。でも、今回だけだよ。

ゼッタイ！これだけ

まずは、**主語**と**述語**がどれなのかをとらえよう。それから、それらを修飾している**修飾語**をとらえよう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

❶ 次の文について、(1)と(2)の文節と文節の関係として適切なものを、あとのア・イからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

鳥が高く飛んだ。

(1)「鳥が」と「飛んだ」
(2)「高く」と「飛んだ」

ア 主語・述語の関係
イ 修飾・被修飾の関係

(1) □
(2) □

❷ 次の文の――線部A～Cそれぞれの文節と文節の関係を、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

今日の朝食は[A]パンとサラダで[B]、パンは焦げて[C]いた。

ア 主語・述語の関係
イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係
エ 補助の関係

A □
B □
C □

❸ 次の文は、主語・述語の関係のどの型にあてはまりますか。適切なものをあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 父は　会社員だ。
(2) 大きな　ビルが　ある。
(3) 色が　美しい。
(4) 私は　毎日　ジョギングを　する。

ア「何が(は)どうする」
イ「何が(は)どんなだ」
ウ「何が(は)何だ」
エ「何が(は)ある／ない」

(1) □
(2) □
(3) □
(4) □

ゼッタイ！これだけ

文節と文節の関係を考えるときは、まず**主語・述語の関係**をとらえよう。それから、主語や述語にかかる**修飾語**を見つけよう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

❶ 次の説明にあてはまる品詞をあとのア～コからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 自立語で活用し、言い切りが「い」で終わる語。

(2) 付属語で活用する語。

(3) 自立語で活用せず、連体修飾語（体言を修飾する語）になる語。

(4) 自立語で活用せず、主語になることができる語。

(5) 付属語で活用しない語。

ア 動詞（泣く）　イ 形容詞（美しい）
ウ 形容動詞（元気だ）　エ 名詞（母）
オ 副詞（まだ）　カ 連体詞（この本）
キ 接続詞（しかし）　ク 感動詞（やあ）
ケ 助動詞（出ない）　コ 助詞（私は）

(1) ［　　］
(2) ［　　］
(3) ［　　］
(4) ［　　］
(5) ［　　］

❷ 次の文の――線部A～Hの品詞名をあとのア～コからそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、記号は一回しか選べません。

ぼくの[A]母は　料理が[B]　とても[C]　上手だ。[D]　そして、[E]
ぼくに　食べたい[F]　ものを　聞いてから、[G]　おいしい[H]　ご飯を　作って　くれる。

ア 動詞　イ 形容詞　ウ 形容動詞　エ 名詞
オ 副詞　カ 連体詞　キ 接続詞　ク 感動詞
ケ 助動詞　コ 助詞

A ［　　］　B ［　　］　C ［　　］　D ［　　］
E ［　　］　F ［　　］　G ［　　］　H ［　　］

ゼッタイ！これだけ

品詞分類は、まず**自立語**か**付属語**かを確認。自立語は**文節の頭か単独**で文節を作り、付属語は**自立語のあと**にあるよ。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

❶ 次の文の――線部ア～キから動詞をすべて選び、記号で答えなさい。

母(ア)は車(イ)を降りる(ウ)まで(エ)笑う(オ)ことは(カ)なかった(キ)。

❷ 例 にならって、次の文中の動詞に――線を引きなさい。（　）には、動詞の数が書いてあります。

例 毎日おふろに入る。（1）

(1) 弟に勉強を教える。（1）

(2) 朝起きると、すぐに新聞を読む。（2）

(3) おなかがいっぱいだから、ご飯は食べないよ。（1）

(4) 私があっちに行くから、こっちに来い。（2）

❸ 次の文の――線部A・Bの動詞の活用形をあとのア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、活用の種類をあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

よく考えて(A)解答用紙に答えを書く(B)。

［活用形］
ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形
エ 連体形　オ 仮定形　カ 命令形

A　B

［活用の種類］
ア 五段活用　イ 上一段活用　ウ 下一段活用
エ カ行変格活用　オ サ行変格活用

A　B

ゼッタイ！これだけ

動詞の活用の種類を見分けるときは、「**ない**」をつけて判断しよう。ア段なら五段、イ段なら上一段、エ段なら下一段活用だ！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 5ページ

1 次のア～クの中から形容詞と形容動詞をそれぞれすべて選び、記号で答えなさい。

ア きれいだ　イ 静かだ　ウ ない　エ ある
オ 大きな　カ 白い　キ 元気です　ク 暑い

形容詞 ［　　］

形容動詞 ［　　］

2 例 ならって、次の文中の形容詞に――線を引きなさい。（　）には、形容詞の数が書いてあります。

例 父はいつも忙しい。（1）

(1) 美しい海を見たい。（1）

(2) 故郷がなつかしくなる。（1）

(3) その犬の脚は細く、とても長かった。（2）

3 次の文の［　　］に、「豊かだ」という形容動詞を適切な形に活用させて書きなさい。

(1) そこは自然が［　　］う。

(2) 暮らしが［　　］なる。

(3) 人生経験が［　　］老人。

(4) 心が［　　］ば問題ない。

(5) 彼女は表情が［　　］。

ゼッタイ！これだけ

形容詞・形容動詞は、それぞれ**すべての単語が同じ活用の仕方をする**ので、活用表ごと覚えよう！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 6ページ

❶ 次の名詞の種類を、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 四月　(2) 太平洋　(3) 日本　(4) あれ
(5) 人間　(6) あなた　(7) 川　(8) 百万

ア 普通名詞　イ 固有名詞　ウ 数詞　エ 代名詞

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □
(5) □　(6) □　(7) □　(8) □

❷ 例 にならって、次の文中の副詞に――線を引きなさい。（　）には、副詞の数が書いてあります。

例 兄は起きるのがとても早い。（1）

(1) うちで飼っている犬は、耳がかなり大きい。（1）

(2) ゆっくり歩いていたら、少し遅（おく）れてしまった。（2）

❸ 次の文の――線部に注意して、□の数に合う呼応の副詞をひらがなで答えなさい。

(1) □□ぼくが医者になったら、病人を一人でも多く助けたい。

(2) たくさんの人々が、□□□波のように押（お）し寄せた。

(1) □　(2) □

❹ 例 にならって、次の文中の連体詞に――線を引きなさい。（　）には、連体詞の数が書いてあります。

例 村に小さな公民館がある。（1）

この計画を必ず成功させようと、あらゆる手段を使って人材を集めた。（2）

ゼッタイ！これだけ

副詞は**主に用言（動詞・形容詞・形容動詞）**を修飾し、連体詞は**体言（名詞）**を修飾する、と覚えておこう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 6ページ

❶ 次の文の――線部ア～キから助動詞を三つ選び、記号で答えなさい。

ぼくの父は、元ラグビー選手です。今は選手ではないけれど、コーチとしてチームを引っ張っています。先週の日曜日、父のチームの応援に行きました。

ア　イ　ウ　エ　オ　カ　キ

□　□　□

❷ 例 にならって、次の文中の助動詞に――線を引きなさい。（　）には、助動詞の数が書いてあります。

例 毎日本を読みます。（1）

(1) あなたに聞きたいことが山ほどある。（1）

(2) わからないことは、すぐに調べよう。（2）

(3) 明日は、今日よりも天気が悪いらしい。（1）

❸ 次の文の――線部「られる」と同じ意味で使われているものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

秋の気配が感じられる。

ア　友だちに助けられる。
イ　先生が上着を着られる。
ウ　簡単に答えられる。
エ　影響が案じられる。

□

❹ 次の文の――線部「ようだ」と同じ意味で使われているものを、あとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

彼女の明るい笑顔は、太陽のようだ。

ア　昨夜のうちに雨はやんだようだ。
イ　彼は数学が得意なようだ。
ウ　りんごのような真っ赤なほっぺた。

□

ゼッタイ！これだけ

「**れる・られる**」の四つの意味、**受け身・可能・自発・尊敬**を忘れないようにしよう。**使役**の「**せる・させる**」も覚えておこう！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 6ページ

1 例 **になって、次の文中の助詞に——線を引きなさい。（　）には、助詞の数が書いてあります。**

例 おいしいミカンを食べて、満足だ。（2）

(1) これは私の母からもらった鏡です。（3）

(2) それくらいがまんしなさいよ。（2）

(3) 本当のことがわかったので、よかったね。（4）

(4) コーヒーを飲みながら、新聞を読む。（3）

2 **次の文章の空欄（くうらん）［　］A～Dにあてはまる助詞を、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。**

ぼくの家では、父［A］母の方が、帰宅する時間が遅（おそ）い。なぜなら、母［B］病院で看護師をしていて、夜の診察（しんさつ）がすべて終わって［C］家［D］帰ってくるからだ。

ア は　イ より　ウ から　エ に

A［　］　B［　］　C［　］　D［　］

3 **次の文の——線部ア～オの助詞から、副助詞と接続助詞をそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。**

お菓子（か し）ばかり食べて（ア）、ご飯を食べない（イ）のはよくない（ウ）よ（エ）。（オ）

副助詞［　］　接続助詞［　］

ゼッタイ！これだけ

複数の意味をもつ助詞に注意しよう。**格助詞の「の」**は、四つの働きに注意して見分けること！

練習問題

↓解答は別冊 7ページ

❶ 次の文の――線部「ない」と同じ性質のものをあとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

ここに置いてあった万年筆がない。

ア 雨が降ってきたのに、傘もレインコートもない。
イ 渋滞で車がなかなか前に進まない。
ウ 暖冬のため、今年は雪がとても少ない。

❷ 次の文の――線部「だ」と同じ性質のものをあとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

全力で走るのは二年ぶりだ。

ア 明日は晴れそうだ。
イ 今日は日曜日だ。
ウ 夜景がきれいだ。

❸ 次の文の――線部「が」と同じ性質の「が」が使われている文をあとのア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 今日は暖かい。が、日陰に行くと寒い。
(2) 駅まで走ったが、電車に間に合わなかった。
(3) 友人と一緒に、犬が主役の映画を見た。

ア 笑っているが、本当は腹を立てている。
イ 母が風邪をひいたようだ。
ウ 電車は急に止まった。が、すぐに動き出した。

(1)
(2)
(3)

ぜッタイ！これだけ

「ない」は、「知らない」→「知らぬ」のように言いかえられたら**助動詞**だよ。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 7ページ

❶ 次の文の――線部の敬語が、尊敬語ならA、謙譲語ならB、丁寧語ならCと記号で答えなさい。

(1) 本日、当店はお休みです。
(2) あなたが書かれたお手紙ですか。
(3) 大変ご迷惑をおかけしました。

(1) □
(2) □
(3) □

❷ 次の文の――線部を、（　）の言い方を用いて、(1)・(2)は尊敬語に直し、(3)は謙譲語に直しなさい。

(1) 校長先生が教室に来る。（られる）
□

(2) お客様が帰る。（お…になる）
□

(3) 私から先生に渡（わた）す。（お…する）
□

❸ 次の会話の――線部ア～ウから、敬語の使い方が正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

山本「こんにちは。先日は私たちのクラスにお話しに来てくださり、ありがとうございました。今日は、そのお礼にアお伺いになりました。クラスのみんなも、森田さんのお話はとても勉強になったと申しておりました。」
森田「わざわざ来てくださって、どうもありがとう。」
山本「これが、そのときの記念写真です。どうぞ拝見してください。」

□

ゼッタイ！これだけ

相手の動作には、**尊敬語（「お（ご）…になる」）**を用いる。**自分**の動作には、**謙譲語（「お（ご）…する」）**を用いる。尊敬語と謙譲語を混同せずに覚えよう！

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 7ページ

❶ 次の文の――線部を、(1)は敬体に、(2)は常体に直しなさい。

(1) 私はいつも電車で学校に通っている。[A] しかし、自転車通学に変えようと考えている。[B]

A

B

(2) 空手の試合を見に行きました。[A] 小さな子どもも大人も、みんな道着を着てがんばっていました。[B]

A

B

❷ 次の文はねじれています。正しい文になるように、――線部を書き直しなさい。

(1) 私の趣味は、マウンテンバイクで山道を走ります。

(2) この車の持ち主は私の兄の車です。

❸ 次の文が（　）の内容になるように、――線部を書き直しなさい。

小さなボールを持った男の子が、公園に立っている。
（小さいのはボールではなく、男の子である。）

❹ 次の文が（　）の内容になるように、読点（、）を一か所つけ加えなさい。

私は笑いながら去っていく友人を見送った。
（笑っているのは友人ではなく「私」である。）

私は笑いながら去っていく友人を見送った。

ゼッタイ！これだけ

主語と述語が合った、きちんとした文を書くために、**常に主語は何かを考えて**、文を書こう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 14ページ

❶ 次の(1)〜(7)の読み方を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

(1) あはれ
(2) こゑ
(3) ふぢ
(4) ゐる
(5) にほひ
(6) をかし
(7) けふ

❷ 次の(1)〜(3)の——線部の読み方を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

(1) 今は昔、竹取の翁といふものありけり。

口語訳 今ではもう昔のことだが、竹取の翁と呼ばれる者がいた。

(2) 野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。

口語訳 野や山に分け入って竹を取っては、いろいろな物を作るのに使っていた。

(3) あやしうこそものぐるほしけれ。

口語訳 妙に心がおかしくなりそうだ。

ゼッタイ! これだけ

歴史的かなづかいでは、語頭以外の「**は・ひ・ふ・へ・ほ**」は「**わ・い・う・え・お**」に直すと覚えておこう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 14ページ

❶ 次の文の――線部「の」の働きを、あとのア・イから選び、記号で答えなさい。

月のいでたらむ夜は、見おこせ給へ。

口語訳 月が出ている夜は、（月を）見てください。

ア 主語を示す。
イ 「の」の前とあとの部分が同じ事柄であることを表す。

❷ 次の文の――線部「けり」は、過去の意味を表します。これをふまえて、文全体を現代語に直しなさい。

家に入りけり。

❸ 次の文の空欄□にあてはまる適切な言葉をあとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

さめざめとぞ泣きぬ□。

口語訳 さめざめと泣いていた。

ア たり　**イ** たる　**ウ** たれ

❹ 次の文の口語訳として適切なものをあとのア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。

水の散りたるこそ、をかしけれ。

ア 水が飛び散るのは、趣深いものなのだろうか。
イ 水が飛び散るのは、趣深いのだろうか、いや趣深くはない。
ウ 水が飛び散るのは、なんとも趣深いものだ。

ゼッタイ！これだけ

係り結びは、「ぞ・なむ・こそ」が**強調**、「や・か」は**疑問・反語**の意味を表しているよ。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 14ページ

1 次の文の――線部の口語訳として適切なものを、それぞれあとのア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

ア とても美しく着飾って座っている。
イ たいへんかわいらしい様子で座っている。
ウ たいそう悲しそうな表情で座っている。

「三寸」は、約九センチメートル。

(2) 大社をうつして、めでたくつくれり。

ア 目立たないようにつくってある。
イ みんなが喜ばしく思っている。
ウ 立派につくってある。

(3) 夏は夜。月のころはさらなり。

ア 月が出ているときはそうでもない。
イ 月が出ているときは言うまでもない。
ウ 月が出ているときはいつもよりさらによい。

(4) 折節の移り変はるこそ、ものごとにあはれなれ。

ア 何事につけても風情が感じられる。
イ 何事につけてもかわいそうに思ってしまう。
ウ 何事につけてもつまらない気持ちになる。

2 月の異名について、あとの問いに答えなさい。

(1) 「神無月」とは何月のことですか。漢数字で答えなさい。

(1) 月

(2) 「九月」の異名の読みをひらがなで書きなさい。

(2)

ゼッタイ！これだけ

「いと」や「あはれなり」「をかし」など、よく使われる古語は、意味を覚えておこう。

とってもやさしい 中学国語 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 15ページ

1 次の古文と口語訳を読んで、あとの問いに答えなさい。

①うつくしきもの。瓜に描きたる児の顔。雀の子の、鼠鳴きするにをどり来る。二つ三つばかりなる児の、急ぎて這ひ来る道に、いと小さき塵のありけるを、目ざとに②見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大人などに見せたる、いとうつくし。

（「枕草子」より）

口語訳

□。瓜に描いた幼子の顔。雀の子が、（人が）ねずみの鳴き声をまねしてみせると踊るようにしてやってくる（様子）。二、三歳くらいの幼子が、急いで這ってくる途中に、とても小さなごみのあったのを、目ざとく見つけて、たいそう愛らしい指につまんで、大人などに見せている姿は、実に□。

(1) ……線部**ア**・**イ**の歴史的かなづかいを、現代かなづかいに直して書きなさい。

↓90ページを見直そう！

ア □　**イ** □

(2) ——線部①「うつくしきもの」の口語訳として適切なものを次の**ア**～**ウ**から一つ選び、記号で答えなさい。

↓94ページを見直そう！

ア おもしろそうなもの
イ きれいなもの
ウ かわいらしいもの

□

(3) ——線部②「見つけて」の主語を、古文中から十字で抜き出しなさい。

□

(4) 文章中に、作者が「うつくしきもの」として挙げたものはいくつありますか。漢数字で答えなさい。

□

ゼッタイ！これだけ

主語は**だれ（何）**で、**どんなことをしたのか**を、一つ一つチェックしながら読んでいこう。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 15ページ

❶ 次の和歌の空欄□にあてはまる枕詞を、あとのア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) □山のしづくに妹待つとわが立ち濡れぬ山のしづくに

大津皇子

「妹」は、ここでは〝恋人〟のこと。

(2) □天の香具山この夕べ霞たなびく春立つらしも

作者不明

ア ひさかたの　イ たらちねの
ウ あしひきの　エ くさまくら

(1) □　(2) □

❷ 次の和歌の鑑賞文をあとのア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(1) 思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせばさめざらましを

小野小町

(2) 山深み春とも知らぬ松の戸にたえだえかかる雪の玉水

式子内親王

(3) 世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

在原業平

ア 恋人に夢の中で会えたうれしさと、寂しさとをよんだ歌。
イ 桜の花に心を奪われ、翻弄される人間の気持ちをよんだ歌。
ウ 奥深い山の中で感じられる春の訪れをよんだ歌。

(1) □　(2) □　(3) □

ゼッタイ！これだけ

枕詞とそれが導く言葉のうち、**たらちねの＋母、あしひきの＋山、ひさかたの＋光・天、くさまくら＋旅**は覚えておこう。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 15ページ

1 次の訓読文は、どのような順番で読めばよいですか。読む順番がわかるように、例にならって数字を書きなさい。

例 登山ニ → 2 1

(1) 思故郷ヲ

ニ

一

(2) 不覚暁ヲ

レ

レ

(3) 遥見人家ヲ

ニ

一

返り点がついていないときは上から順に読み、返り点がついていたら、それに従って読んでいこう。

2 次の書き下し文の読み方になるように、例にならって返り点をつけなさい。

例 山に登る。

登山。

(1) 霜天に満つ。

霜満天。

(2) 悠然として南山を見る。

悠然見南山。

ゼッタイ！これだけ

「レ点」はすぐ上の一字、「一・二点」は二字以上隔てて返って読むよ。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025

練習問題

↓解答は別冊 16ページ

1 次の漢詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

絶句　杜甫

*江碧鳥逾白　江は碧にして鳥は逾よ白く
山青花欲*然　山は青くして花は然えんと欲す
今春*看又過　今春看す又過ぐ
何日是帰年　何れの日か是れ帰年ならん

*江…錦江という川。　*碧…濃い緑。
*然…燃え出す。花が真っ赤に咲くさま。
*看…みるみる間に。

(1) 漢詩の形式を次の**ア**～**エ**から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 五言絶句　**イ** 七言絶句
ウ 五言律詩　**エ** 七言律詩

(2) ――線部に、書き下し文の読み方になるように、返り点をつけなさい。

花欲然

↓100ページを見直そう！

(3) 対句になっているのは、第何句と第何句ですか。漢数字で答えなさい。

書き下し文を読んで、似た形になっている二つの句を探そう。

第　　句と第　　句

(4) 漢詩の作者が最も伝えたいことを次の**ア**～**ウ**から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 親子の愛情
イ 世のはかなさ
ウ ふるさとへの思い

ゼッタイ！これだけ

漢詩の形式は、**五言**と**七言**の**絶句**と**律詩**に分けられることを覚えておこう。

 © Obunsha Co., Ltd. 2025